令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」で設定する目標等について

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析
③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	地域の過疎化や共働き・一人親世帯の増加に伴い、放課後や休日における家庭以外の子どもの居場所が不足することで経験・体験の機会の不足につながっていることから、保護者の安心と児童の安全が確保され、様々な体験・経験が得られる活動の機会をいかに提供するかが課題である。	学校の教育課程では体験できないような町内外の人材を活用した多様なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを提供するとともに、SNSで積極的に活動の様子を発信したり、実際に保護者にﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑに参加してもらうなどして、保護者の安心につなげている。	・町内外の外部人材を活用したﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの提供 ・保護者参加型のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの実施 ・SNS等での積極的な情報発信	放課後や休日の安全・安心な活動の場が創出されることにより、子どもの居場所が確保され、地域で子どもを育てる気風が醸成される。また、勉強以外のことに興味をもち、実際に体験・経験してみようとする子どもの数が増加する。	保護者ｱﾝｹｰﾄにおいて「子どもが勉強以外のことに興味を持つようになったと感じるか」	60	%	65	83	・勉強以外に興味を持つようになった参加児童数が増加したことで、経験・体験を得られる機会・場となっている。 ・本事業への参加や学習塾、少年団活動、習い事等に通っていない児童をどう取り込むかが課題である。